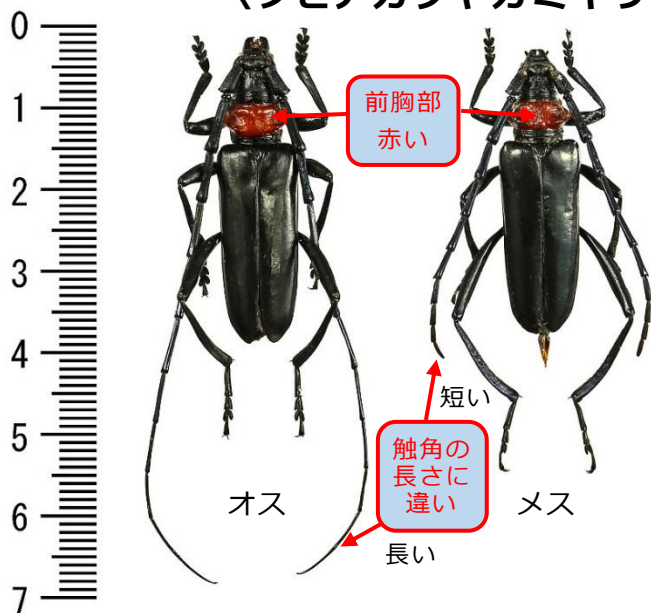


サクラなどへのクビアカツヤカミキリ被害の確認ポイント

サクラやモモ、ウメなどを食害する特定外来生物『クビアカツヤカミキリ』の被害の有無を確認するうえで、ご活用ください。

〈クビアカツヤカミキリ(成虫)の特徴〉



【体 長】 25～40mm

【発生期】 6月～8月頃

【特 徴】

- ・全体は青みを帯びた黒色
つやつやした光沢がある
- ・前胸部（クビのように見える部分）が赤い
- ・触角はオスの方が長い
- ・つかむと強い匂いを放つ

※成虫はその場で駆除して下さい！

（生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています）

〈幼虫による樹木被害の確認ポイント〉

孵化した幼虫は、すぐに樹皮に孔を開けて樹木内部に侵入し、およそ2年間、主に樹皮直下の材を食害します。

○対象樹種

サクラ、ウメ、モモ(ハナモモ含む)、スモモ

○調査範囲

高さ3m位までの幹や根元、太枝の表面

○調査内容

6月～9月に、下の写真のような『フラス』(幼虫が排出する木屑と糞が混ざったもの)が出ていないかを確認して下さい。

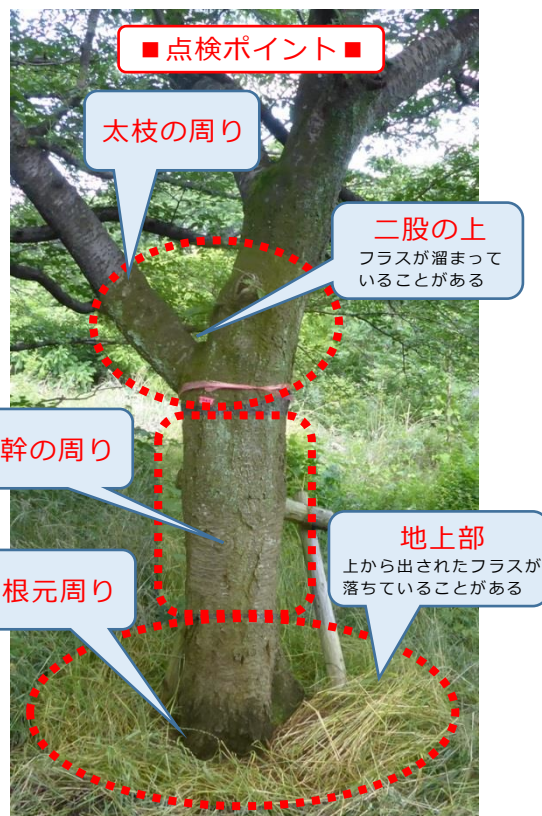
点検するポイントは右の写真を参考にして下さい。



根元で確認されたフラス



幹で確認されたフラス



フラス（疑いも含めて）や成虫を確認した場合、至急、以下までご連絡下さい！

生活環境部環境政策課 電話 0422-45-1151 (内線 2523～2525)